市報とおかまち

昭和38年1月19日（土曜日）　定価一部5円　発行　毎月15日　発行所　十日町市役所

昭和38年
1月号
昭和32年6月5日
第三種郵便物認可

今月の納税

市民税（第4期）

納期1月31日

人口の動き

人口	50,507
男	23,900
女	26,157
世帯数	9,601

謹賀新年

伸びゆくわが郷土
十万都市への夢を持つ十日町市

年頭の辞
大十日町市建設に努力

市長　村山謙吉

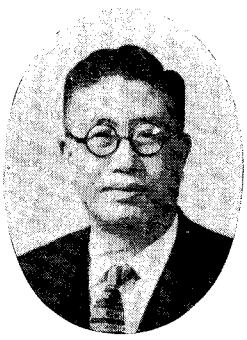
市民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昭和三十八年の輝かしい新春を迎えて、十日町の発展と市民の皆さまのご健勝をお祈りいたします。

さて十日町市がこゝ二、三年来、実にめざましい躍進をとげてまいりました。

すなわち主要地方道六日町—直江津線、相崎—金津若宮線の二本が二級国道に昇格編入し、一方鉄道におきましては、昨年十二月から十日町—新潟間の直通急行運行実施されたのに加えて、本年度繊維が調査線に編入され、建設線へ着々歩みを進め、その実現も近い将来となってきております。このように交通上の見地からだけでも本市にとって画期的な躍進といい得ることができるのでございます。しかし主要産業の繊物が年末に入ってやゝ不安を感じさせておりますが業界の協調によりこれを克服し、一段と繁栄を遂げるものと期待しております。

昨年は、二年続いた台風禍もひるがえって市政におきましては予算も現計では約六億円と、こゝ二、三年間のうちに二億近くも多くなり、それだけ市の事業も忙しくなってきたと言い換えられます。それも偏に健全財政堅持しながら近代的な十日町小学校、市民体育館といずれも県下に自慢できるものを完成しました。又市民福祉のため産業の急激な進展、あるいは農業構造の向上と共に相当の伸び市立保育所や消防庁舎の建設等ありましてこの間慶に絶えませんこれも偏えに関係者の皆さまのたゆまぬご努力の賜ものと深くたいけまして、昨年水沢村他面におきまして、昨年水沢村を合併して人口今や五万を越え行政面ではその規模も拡大されて、将来十万都市への発展の基礎を築くべき事業に変りつゝあります。



昨年は一二年続いた台風禍も市政が円滑に運営できましたことは、偏に皆さまの多大なご協力によるものと深く感謝申し上げます。

さて本年は一層重点施策の推進に意を用い、交通整備すなわち六日町—直江津線、八箇下条を結ぶ幹線の架橋促進、重要市道の舗装に加えて、主要道路の無雪化を早急に実現したいと考えております。又環境衛生面では市民生活上欠くことのできない屎処理場の建設、一方農業面では近代化をめざして農業構造改善事業等、数多の仕事が山積しておりますが、市政を進める上に最も大切な礎は市政に対する市民の皆さまのご理解と協力であると痛感いたしております。本年も市議会と共に大十日町市建設に誠心誠意して努力いたしますので、どうぞ昨年にも増したご鞭撻とご協力を賜りますよう、せつにお願い申し上げます。

こゝに謹んで市の発展と皆さまのご健康をお祈りして新春のごあいさつといたします。

年頭の辞
豊かな市づくりに邁進

議長　樋口政太郎

一陽来復嬉しい昭和三十八年の新春を迎えるに当り、市民の皆さまと共に十日町市の発展を心からお祝い申し上げます。

昨年はまことに多事多難な年でありましたが、待望久しかった十日町小学校をはじめ市立保育所、消防庁舎、さらに市民体育館等続々完成しましたことは十日町市の文化と市民生活の向上に大きく貢献したものと自負いたしております。一方市政の面におきましても予期以上の成果をあげることができましたことは、偏えに市民の皆さまの深いご理解と多大なご協力の賜ものと深く感謝申し上げると共にまことに衷心に絶えない次第でございます。

また飯山線の輸送改善におきましても、昨年十一月から十日町—新潟間の直通急行運行されましたが、今後更にこれを足がかりといたしまして長野間の承急線へ努力いたす所存でございます。

また私ども長年の懸案でありましたが、年あらたまって景気の回復を期待しております。

さて私ども市議会といたしましては、この新しい年と共に市民福祉に向って経済効果をあげるべく、益々努力いたす覚悟でございますが、私どもにとりましては最後任期の年に当っておりますので、広く御い新たにして主要産業の繊物をはじめ農業方面、商工業、その他各方面にわたって深く意を注ぎ、豊かな市づくりに邁進いたす次第でございます。それだけに本年も又従来にも増して皆さまの深いご支援をお願いする点が多々あると存じますので、市民の皆さまの特段のご理解をご願いたす次第であります。

これから市が行なおうとする事業は数多くありますが、残された期間、専念努力いたしますので何卒本年も相変ずご協力を願わりますようお願い申し上げます。

こゝに輝かしい昭和三十八年の年頭に当り、市民の皆さまのご多幸と十日町市にとりまして一大飛躍の年となりますようお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

保育所入所児童募集

昭和三十八年度保育所入所児童をつぎにより募集します。

一、受付期間　二月一日～二月十日

二、提出書類

保育所入所申請書　一通

添付書類として父母祖父母で給与所得のある方は源泉徴収票の写を必らず添付して下さい。

前年の納税が他市町村の場合は市町村民税納税証明書を添付して下さい。

三、提出先

十日町市役所内　社会福祉事務所

四、申請用紙

市役所受付、市社会福祉事務所窓口、各保育所に準備してありますからお申し出下さい

五、入所予定人員

施設名	三才以上児	三才未満児	計
十日町保育所	二五	五	三〇
十日町幼児園	三〇	〇	三〇
北越保育園	一〇	一〇	二〇

六、入所児資格

十日町市に住民登録をしてある保育に欠ける児童であること。

（教育のために入所させるものではありません）

歳末見舞金品

としてつぎの通り御寄附がありましたのでその意を尊重して取り扱いました。ここに御礼を申上げます。

新田川町八島トモ子衣類　一五点
跡部町田村トヨリンゴ（養老院）　一箱
姿原正次学用品その他　三一七点
金沢善作現金　一、〇〇〇円
東京内藤直義現金　三〇〇円
駅通り新川屋酒店ソース二打入　七箱
青戸（樋口順治）千羽鶴（養老院）　一箱
関口町村武又一現金　一、〇〇〇円
十日町ボーイスカウト社会福祉募金二六、八三三円
十日町婦人会現金五、〇〇〇円
中魚沼民労婦人青年部現金一、三一〇円
吉田地区みどり会現金一、〇〇〇円
信用組合十日町支店一〇〇円相当の貯金通帳三〇〇個
十日町実業高校家庭クラブ衣類　数十点

（以上ご厚意にあげられ御寄附との事）

匿名　現金三、二〇〇円
〃　十日町警察署経由衣類　五点
〃　十日町警察署経由現金　五〇〇円

石油ストーブ
取扱いに十分注意
消火設備も忘れず

最近、石油ストーブは経済的で便利な暖房器として著しく普及して広く一般家庭や各事業所で使用されており、今後益々多く使用される傾向にあります。

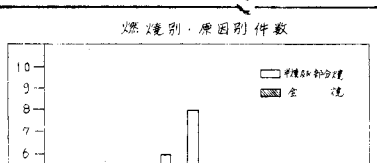
全国の火災発生の原因調査によると、石油ストーブ、こんろ及びたばこの不始末によるものが最も多く、昭和三十三年の十日町市における火災の原因を石油ストーブ、こんろによるものが二四%で一番多くなっておりますが、幸いに消火器の普及と通報が早いことで石油ストーブによる全焼火災はありませんでしたが、通報がおくれたり、また処置が適切でなかったりすれば、全焼になる危険性がありますので、その取扱いには十分注意いたしましょう。

石油ストーブ、こんろを使用している家庭や事業所、またこれから購入しようとする時は、消火器備（消火器を備えつけることが最も有効である）を忘れずに考慮いたしましょう。

遠い通報少ない損害
火事は一一九番へ

なお、昭和三十七年一ヵ年間の十日町市の火災を原因別にみますと、

▼一月＝たこつ一、消炭・取炭二▼二月＝石油火器・石油類引火一▼三月＝煙突一▼四月＝たこつ一、煙突二、消炭・取炭二▼五月＝煙突一、消炭・取炭一、石油火器・石油類引火一、弄火一、焚火二▼六月＝いろり・ひばち一、石油火器・石油類引火一▼七月＝ゼロ▼八月＝消炭・取炭一、落雷一▼九月＝いろり・ひばち二、煙突一、煙草一、石油火器・石油類引火一、プロパンガス一、弄火一、不明一▼十月＝いろり・ひばち一▼十一月＝煙突一、石油火器・石油類引火一、その他一▼十二月＝たつ一、石油火器・石油類引火三で、計三十八件となっております。



償却資産の申告について

地方税法第三八三条の規定により、一月一日現在所有している償却財産（「土地財産以外の事業の用に使用している又は使用することが出来る資産（構築物機械及び装置、車輌運搬具、工具器具備品）で法人税法又は所得税法で損金又は必要経費として認められるもの。但し自動車税及び軽自動車税として課税される自動車及び原動機付自転車、軽自動車、二輪の小型自動車を除きます」について、その償却財産の所在している市町村長に一月三十一日までに申告しなければなりません。

困難な情勢
新年度予算編成

昭和三十八年度の十日町市の新年度予算につきましては、只今市財政課で編成事務を進めておりますが、新年度における市の財政事情は、し尿処理施設事業を始め、十日町小学校建築費等の義務負担及び中学校グラウンド・歌地買収等の継続事業並びに新市建設五ヵ年計画最終年としての事業の推進、並びに給与改訂の平年度化による人件費の増加、特別会計の赤字補てんの対策がある一方、その財源につきましては、最近市の主要産業である織物業界の不振等により市税の大幅な増収は期待できない状況であります。これらを総合すると新年度予算編成は相当困難な情勢であることが考えられます。しかしながら

①地方自治の本旨に則り健全財政を堅持
②仕越事業の予算化及び継続事業の完成
③し尿処理施設の建設
④新市建設五ヵ年計画の優先的計上
⑤市道の舗装整備並び農道整備
⑥公共事業及び災害復旧事業はできゞだけ予算化する
⑦農業の近代化、織物産業振興に対する対策

等を方針として最少の経費で、最大の効果をあげ、広く市づくりを進めてゆかなければなりませんが、市民の皆さまにはこれらの点をよくご理解下さいまして市政の運営にご協力下さるようお願いいたします。

市民の学習の場
整備された公民館

「公民館て何する所なの」「そんなものどこにあるの」こんな態しいせりふが直接公民館の仕事をしている職員に質問される事があり、自分では海千山千のつもりでいる古参主事が寝ぶを抜かれる事が時折ある。

「公民館なんて無くてもいいでしょう」「いろいろの集会する場所がたくさんあるから」これは年のインテリ男子の方がいつも簡単に申される二説であるさも税金で公民館をつくるのは無駄にしている様に。それから少し理解の進んだ方でこんな質問がある

「社会教育課の仕事と公民館の仕事はどう違うのか、どうもはっきりしない」。これらの質問に対して公民館の仕事を担当している職員として少し反省して見なければならない。即ち・P・R が未だ不充分なのだという事に。そこで今度は徹底ではあるが緊急を必要としているP・Rから取りかかります。当世風に表現すると公民館のコマーシャルを親会社の教育委員会とスポンサーである十日町市当局のお助めによりまして。

昭和三十七年も暮れて十二月十日に今日まで間居して居りました十日町小学校の生徒が新校舎に移転を完了して間日放課後等の解体はじめとなり古ぼけた旧玄関の部分を解体はじめとなり古ぼけた旧玄関九時半まで貸出し致します。平日は午後八時半から五時半まで日曜は休館となります。尚年末年始には図書室整備の都合上前後併せて六日間休館させて戴きます。せいぜい御利用下さい。四月からは改め度い事も二三ありますから図書室改正でその都度お知らせ致します。

次が集会室（中ホール）ですがここは板の間四〇坪程ありまして図書館など常設して視聴覚的資料などによる発表会を計画しております。新作教育映画の鑑賞会なども致し度いと思っています。場所さえあれば中堅ライブラリーのものなど定期的に公開する事もできます。

次に婦人の学習のできる場として実習室を新年度予算に出願しました。調理も被服も手芸も市内外から講師をお呼びしたり父親師の協力のできる様に考えて出来るだけ良い設備にしてもたくさん利用して戴く様に考えてみたいと思っています。

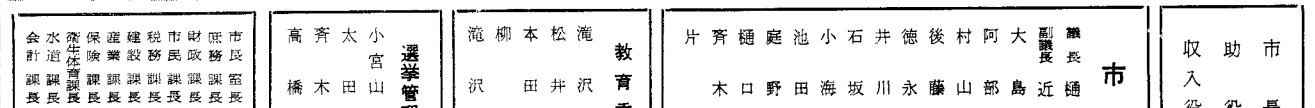
次に二階ですが定期学習の出来る様に学習室を整えました。七十二坪ノ二十坪であります。ここには大人用の机と椅子が揃えてあります。

次に小会議用の十二坪と八坪の部屋に三十坪の日本間があります。あまり大集会などは困りますが毎日眠やかに利用されていますから早目に申込まれる様にお願いします。

その他市民の皆様の相談事務も考えております。新しい公民館の使命は次の機会にします。

選挙人名簿確定登録人員数

投票区名	基本選挙人名簿 男	女	計	投票区名	基本選挙人名簿 男	女	計
第1投票区	1,165	1,588	2,753	第26投票区	126	126	252
第2 〃	855	1,151	2,006	第27 〃	52	58	110
第3 〃	1,516	1,774	3,290	第28 〃	252	289	541
第4 〃	96	112	208	第29 〃	257	294	551
第5 〃	26	34	60	第30 〃	494	534	1,028
第6 〃	47	48	95	第31 〃	232	253	485
第7 〃	110	121	231	第32 〃	143	147	290
第8 〃	89	80	169	第33 〃	616	709	1,325
第9 〃	896	1,022	1,918	第34 〃	233	255	488
第10 〃	433	603	1,036	第35 〃	196	241	437
第11 〃	562	661	1,223	第36 〃	282	307	589
第12 〃	273	297	570	第37 〃	387	436	823
第13 〃	80	93	173	第38 〃	157	171	328
第14 〃	148	144	292	第39 〃	385	463	848
第15 〃	72	70	142	第40 〃	223	248	471
第16 〃	144	138	282	第41 〃	147	158	305
第17 〃	60	60	120	第42 〃	110	112	222
第18 〃	750	966	1,716	第43 〃	108	115	223
第19 〃	195	231	426	第44 〃	37	47	84
第20 〃	556	654	1,210	第45 〃	81	91	172
第21 〃	81	93	174	第46 〃	90	93	183
第22 〃	159	167	326	第47 〃	80	86	166
第23 〃	25	21	46	第48 〃	55	56	111
第24 〃	121	136	257	第49 〃	208	205	413
第25 〃	90	100	190	計	13,500	15,858	29,358



市長　村山謙吉
助役　小川彦一郎
収入役　高木佐五郎

市会議員（議席順）

議長　樋口政太郎
副議長　近藤雄四郎
大島昭三
阿部イヶ竹内真
村山政一郎
後藤唯七
徳永泰敏
滝沢忠太郎
石井正隆
小海隆三郎
池田広吉
庭野吉郎
樋口惣一郎
斉木正美
片賢吉
山口秀二
尾身教
高田啓助
庭野栄作
大島憲治
坂本保平
柳沢正邦
宗平
塩川好司
島田直治
庭野義雄

教育委員

滝沢泰次郎
松井秀治
本田金作
柳沢儀一
滝沢林平

選挙管理委員

小宮山安孝
太田吉
斉藤重義
高橋琦造

監査委員

福崎正平
滝沢忠太郎

公平委員

山本豪平
吉沢寛平
大島由松

固定資産評価審査委員

飯塚賢治
保坂徳一
小宮山潔

市民室長　中町忠雄
庶務課長　富井喜雄
財政課長　池田作三
市民課長　岡田信郎
税務課長　野上忠吉
建設課長　林一郎
産業課長　田村正徳
保険課長　渡辺福栄
衛生体育課長　酒井梅吉
水道課長　岩田正吾
会計課長　村山栄一
消防本部長　菅村新蔵
消防署長　阿部勝次
選管事務局長　内山仙吉
議会事務局長　樋熊良作
農業委員会事務局長　越村已則
教育長　松井秀治
教育委員会事務局長　佐野良吉
社会教育課長　上村政基
社会福祉事務所長　桑原一郎